

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 6 月 16 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	井野まちづくりセンター	参加人数	15 人
出席議員	西田清久、上野茂、牛尾昭	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○バスあっても乗るところまで出られない、井野っ地号は家まで ○ひゃこるバス 1 週間の運行が決まっている、行きたい時にいけない。 ○病院受診に行く手段が難しい ○敬老乗車券も冊数が少ない。20冊6万円では浜田から井野は1万円かかる ○道路状況が悪い、草刈りが無理、イノシシが掘りガタガタになり危険 ○移動手段、ひゃこるバス、井野っ地号、家族、近隣の方の車で対応してもらっている。 ○JAの肥料などすべて市内に集中し、車のない人は農業など無理な状態 ○井野っ地号の利点、玄関から玄関へ、タクシーより安い(課題) ○井野地区のみの人材では草刈り等何もかも継続は無理 ○ドライバーが高齢者になりやめる人も多く不安 ○井野っ地号三隅地区だけ、浜田、益田方面の病院へは行けない ○バス利用者が高齢者になり認知症など付き添いがいないと心配 ○交通-高齢者に目が行きがちだが、学童(委託)の長期休暇中の移動(事業参加等)への予算は考えてもらえないか(解決策) ○運営資金の確保 ○県道、市道の整備 ○指定管理を取り公共交通の維持を図る ○敬老乗車券の拡大 ○利用受付者の確保 ○介護保険を利用して利用代金の減免 ○定年後生計が維持できる補助があれば運転に専念できる ○他の公共		

	交通との連携 ○行ける行動範囲の拡大 ○立ち寄り各所の拡大 ○井野っ地号利用促進 (その他) ○新たに避難所を新設する事はできるのか？ ○バスが立ち寄るようにしてもらった(一便だけ)ので将来利用できるのので少し安心 ○駅に行っても人がいない高齢者は不安、対応を考えてほしい。 ○車がないと家に閉じ籠ってしまう。見守り体制を ○現在の避難所所は58年災害で死亡事故も起きている場所で住民に避難呼び掛けてもNo、現状では自宅避難がBEST
	【福祉環境】市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○草刈り高齢化、人で不足、助成金で業者を雇うほどでなく困る ○山への不法投棄が多い ○温暖化による対策に援助
	【産業建設】地域産業の問題点と課題について ○河川の堆積土の撤去を ○君市踏切の改良と救急車の運行経路について ○防犯灯の整備や電気代の助成を

自由意見	【総務文教委員会】 ○石見テーブルテレビの防災、道路状況を映すカメラの映像が木の成長でわからない、管理はだれがするのか ＊持ち帰り対応する ○５８年災害も経験、避難所の集会所で危険なところがある。見直してほしい。３０年以上、逃げる所がない ○避難所どこもまちづくりセンター事務所が閉まっているとファックス、電話等が使えないセンター休みの日の対応は ＊簡単に事務所に入れるようではいけない。対応を考える ○みどりかいかん４０年を迎える、解体について１千万～２千万かかるのでは、今、流れに沿っているが ＊耐用年数を超えるものを行政財産難しい民間へ・・・地域の声と行政と、地域主体となるようでなければいけない、頭に入れておく ○携帯電話の通じない地域がある
	【福祉環境委員会】 ○近くに福祉施設がない ○近くに医療機関がない ○認知症になっても交流できる場所があれば支えあえるのでは ○介護保険等利用せず健康な方への粗品配布はないのか ○介護タクシーは利用金が高い乗車券を使う
	【産業建設委員会】 ○旭の「まんてん」の移動販売等の今後は ＊移動販売は再開している ○道路の落ち葉が積み重なり、側溝もつまり、危険木等もある ＊持ち帰り道路管理とう対応する ○近くに銭湯がない（１人暮らし風呂を沸かすのが大変）

令和６年５月１６日 報告者 上野茂